

西方図書館長就任記念講演会の開催について

今年4月に図書館長に就任された西方 守教授（人間学部）が、図書館利用者の皆様に是非読んでもらいたい本を、6月7日から約1ヶ月間にわたり図書館で企画展示しました。

今回開催する講演会では、企画展示された“おすすめ本”を含め西方館長のこれまでの『本との出会い』についてお話いただきますので、どうぞ気軽にご参加ください。

【講演会概要】

日 時： 2018年 10月 11日(木) 18時30分～19時30分
場 所： 石巻専修大学図書館1階
対 象： 学生、教職員、一般市民

講演会の開催にあたり

「本との出会い」

私はもともと本を読むことは好きではありませんでした。どちらかというと理科系タイプで国語も苦手でした。家で本などを読んでいるよりは、外で遊んでいるとか、スポーツをしている方が好きでした。小学校5、6年生のときは、陸上のリレーの選手でしたし、夏は毎日プールで泳いでいました。野球ではキャッチャーをしていました。中学校ではバレーボール部でセッターをしていましたし、高校でもバレーボールのアタッカーをしていました。

ところが、高校2年生のとき、体力的に勉強と部活の両立に行き詰まります。選択肢は一つしかなかったにもかかわらず、部活をどうしてもやめることができませんでした。今から考えると、部活をやめてしまったら、自分らしさが失われてしまうのではないかという強迫観念にとらわれていたようです。スポーツに依存してしまっていたようです。その結果、学校を休みがちになり、最初の年は出席日数が足りずに留年、次の年の7月に退学、その次の年の4月に再編入学と、高校2年生に3年間を要することになります。その間、自分を立て直さなければと、藁にもすがる思いで読み始めたのが、それまであまり手に取ることもなかった、小説や詩、短歌、そして心理学の入門書でした。

このような形で始まった、私の「本との出会い」について、今回はお話をさせて頂きたいと思います。

講演者： 西方 守（にしかた まもる）

石巻専修大学図書館長、同大学人間学部人間文化学科教授（専門分野は教育哲学）

1952年(昭和27年)5月、仙台市生まれ、博士(教育学、東北大学、2000年)

主な担当科目は哲学一知の起源一、倫理学、教育学概論、教育原理(中等)、教育哲学、人間文化演習、著書に『リットのエデュケーション』(専修大学出版局、2006年)等がある。

問い合わせ先：

石巻専修大学図書館

〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1番地

[TEL:0225-22-7718](tel:0225-22-7718) (月曜～金曜、9:00から17:30)

E-mail: lib@isenshu-u.ac.jp